

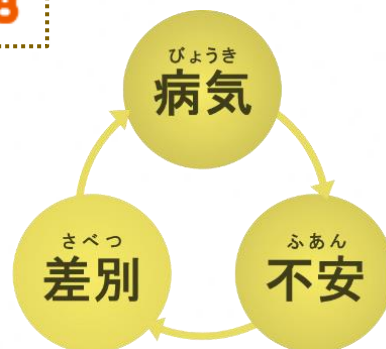
新型コロナウイルスの影響で日常生活への制限や、新しい工夫が必要な状況が続いています。今までとは違う生活形式に変化し、不安や感染者などへの差別・偏見などが社会問題にもなっています。誰もがかかる可能性があることを前提に、身近な人が感染することを考えた対応も必要です。

以下、「新型コロナウイルスがもたらす3つの”感染症”」（日本赤十字社監修）参照



3つの感染症とは？

- ① “病気”そのものの感染症
- ② “不安”という気持ちの感染症
- ③ “差別・偏見”という意識の感染症



この3つの感染症が負のスパイラルとしてつながることで、さらなる感染拡大や、社会問題の深刻化へとつながっていきます。

Check

負のスパイラルを断ち切るためにできること

- ① ウイルスの感染をひろげないために… 自分の感染症予防を徹底して行う
- ② 不安にふりまわされないために… 情報源のはっきりしないうわさ話はしない・広げない
- ③ 差別や偏見をひろげないために… 言い出しにくい空気をつくらない



感染症から差別や偏見が生まれる理由

人は目に見えないウイルスに対する不安やおそれを、目に見えるものにすり替えます。
感染症にかかった人や、特定の地域・職業の人など、実際に目に見える感染症を連想させる人や場所などを避けたり遠ざけたりする気持ちや行動が「差別や偏見」につながっています。

目では見えないウイルスに対する
不安やおそれ



感染症にかかった人、その家族 地域や学校 を
“敵”とみなして 嫌悪の対象とする

嫌悪の対象を差別して遠ざけることで
つかの間の安心感を得る

新型コロナウイルスを含め、感染症は誰でもかかる可能性があります。たたくべき相手は人ではなくウイルスです。感染症への正しい理解と思いやりの心で不安な気持ちを乗り越えましょう。



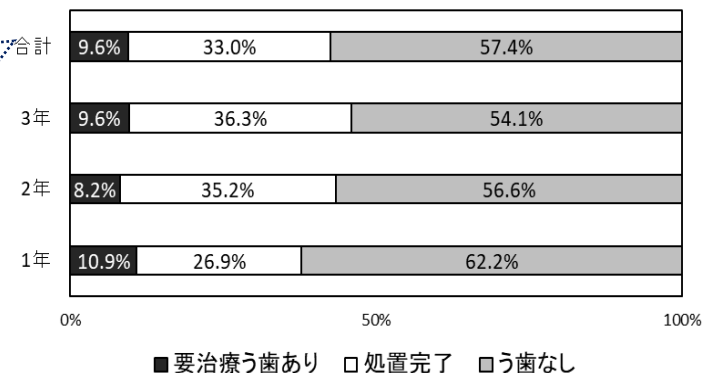
歯科検診結果（各学年、全体）から

合計（全体）を見てみましょう。

◎むし歯のある人が少しずつ減っています！
H31(14.6%) → R2(11.6%) → 今年9.6%

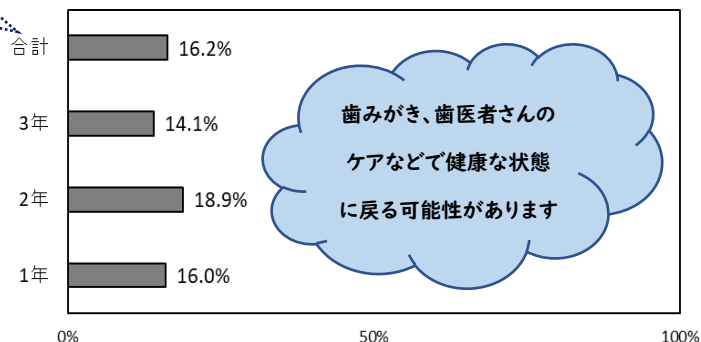
◎むし歯を治す人が少しずつ増えています！
H31(30.0%) → R2(30.9%) → 今年 33.0%

むし歯の状況



CO(要観察歯:むし歯になる可能性のある歯)
が少し増えています…
H31(13.8%) → R2(13.3%) → 今年16.2%

CO（要観察歯）の状況



受診が必要な人は早めに受診し、
終わりましたら保健室に受診完了
の用紙を提出してください。

